

「特産品開発等に係る事業」 記載留意事項

市町村名	大宜味村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① カラキ活用推進プロジェクト	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 第3章-3-(9)-イ 県産品の販路拡大と地域ブランドの形成					
担当部署名	産業振興課	事業実施年度 平成28～令和4年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 III-1-(4)					
事業内容	カラキ(オキナワニッケイ)をシナモンとしての価値に着眼し村内の地域資源として活用し、苗木生産から一次加工、商品開発・ブランド構築までを一貫して行い、地域内連携を推進しながら農林業の振興、観光の振興、人材育成等の地域振興を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,046	14,330	12,546	1,240	1,168
		(b) 予算現額	9,646	4,572	12,534	738	1,168
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 400	▲ 9,758	▲ 12	▲ 502	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	9,646	4,572	12,534	738	1,168
		B. 執行済額	9,588	4,243	12,534	738	711
		うち交付金充当額	7,670	3,394	10,036	591	568
		次年度繰越額	-	-	11,652		
		執行率 (%) (B/A)	99.4%	92.8%	100.0%	100.0%	60.9%
予算の状況の説明	不用額355千円は、作業日数の減による報酬費の減額によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)	
	挿し木苗の栽培管理の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	鉢上げ作業の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	鉢上げ後の苗の栽培管理の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	2商品	実施	
	苗の配布実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
講習会の開催(年1回以上)	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	・苗木の栽培育成については、昨年度までに作成した優良な挿し木の苗木の栽培育成のための管理作業を行った。 ・定植苗の配布については、希望する農家を募集・審査・栽培講習会を開催し優良苗木を配布を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (R4年度)
	挿し木苗の栽培管理の完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
		実績		完了	完了	完了	完了
	鉢上げ作業の完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
		実績		完了	完了	完了	完了
	鉢上げ後の苗の栽培管理の完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
		実績		完了	完了	完了	完了
	苗の配布完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)
		実績		完了	完了	完了	完了
	講習会の開催(年1回以上)	目標	()	()	()	(完了)	(完了)
実績					完了	完了	
【R4成果目標】 開発した商品を活用し村内事業者11店舗以上	目標	()	()	()	()	(11店舗)	
	実績					14店舗	
進捗状況説明	・挿し木苗の栽培管理の完了…令和2年度に挿し木した苗をトンネル内で栽培管理を行った。 ・鉢上げ作業の完了…令和2年度に挿し木した苗の鉢上げ作業を行い、約450鉢を作ることが出来た。 ・鉢上げ後の苗の栽培管理の完了…鉢上げされた苗は除草・かん水等の作業により栽培管理を行った。 ・苗の配布完了…希望する15名の農家に511本の優良種苗を配布した。 ・講習会の開催(年1回以上)…配布を決定した農家向けに定植方法を中心に栽培講習会を開催した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 配布先の農家の栽培環境がそれぞれ異なる。 整枝・剪定方法等の収穫に直結するような栽培技術がまだ確立されていない。 カラキ葉を出荷できる農家が少なく供給が限られているので商品開発等が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> 栽培がうまくいっている配布先農家で現地検討会を開催し、栽培技術の普及・平準化を図る。 栽培技術については県の関係機関等にも相談して技術向上・普及をめざす。 カラキの供給量を上げるために葉が多く収穫できる栽培技術について配布先農家それぞれで検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 農家に配布した苗の栽培状況について現地調査や聞き取り調査を行い、栽培技術に関する情報を収集する。 農家への配布終了後の苗木の増殖については、これまで配布した農家が自主的に取り木等で増殖できるようにする。 今後のカラキの商品化については村内のカラキの増殖具合を見ながら県内の食品関係者等と一緒に取り組む。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	10,631	711	568	143	9,920
<pre> graph LR A[大宜味村 711千円] --> B[報酬 611千円] A --> C[旅費 1千円] A --> D[需用費 99千円] B --> E[挿し木作業員(延べ2名) 611千円] E --- F[作業員2名の報酬] C --- G[費用弁償(通勤手当) 1千円] D --- H[消耗品費] </pre>					

	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・使途の点検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、作業員の雇用については村の会計年度任用職員の規定に基づいて雇用し、報酬も支払っているため適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、報酬、旅費については苗木の管理等の作業で最低限必要な人員の予算で、消耗品については苗の育成に必要な肥料等、苗圃を管理するための資材等に限られた予算のため適正な規模である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。